



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.146



5月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2024年5月10日

フェーズフリーで解く災害大国の観光立国案

会長 鈴木 裕

元旦の能登半島地震は日本が世界最大の地震災害大国であることを再認識させる事件でした。被災された皆様には改めて哀悼の意を表し、今後のできるだけ早い復興を祈念するとともに、今後も起こり得る地震災害に対する被害を少しでも小さくする教訓を勉強させていただければと考えている次第です。

当協会は3年前より「観光のフェーズフリー」というテーマで一般社団法人フェーズフリー協会の代表理事の佐藤唯行氏のご指導の元、協会の石原智也理事を中心に研究を続けて来ました。今年度中に「(仮称)観光のフェーズフリー」の小冊子をまとめ発刊する予定です。

フェーズフリーとは「災害時と日常時というフェーズを分けるのをやめましょう」という考え方です。災害時という概念からはそれに備える防災という概念が生まれますが、防災では喉元すぎれば熱さを忘れてしまいます。備えた電池は切れてしまい、水も悪くなってしまいます。災害は忘れた頃にやってくるのです。そこで、日常のもの、ことが災害時にも役立つようにするべきであるという考え方が「フェーズフリー」なのです。

フェーズフリーな車はハイブリット車です。日常時には燃費がよく災害時には5日分の電池になります。フェーズフリーな車のライターは先が尖っていて災害時には車のガラスを割ることができて水没災害から身を守ってくれます。フェーズフリーな

ベッドは寝心地の良い取っ手付き追加マットを装備しており、災害時には老人、身障者を簡単に人力で移動させることができ、また避難施設内で快適なマットとして利用できます。フェーズフリーな道の駅は円弧状の建物で、日常時には子どもたちが登って遊べる公園ですが、津波災害時は安全な避難場所となります。フェーズフリーなリゾートは展望のよい裏山に登れる散歩道があり、津波災害時には勝手知ったる避難場所となります。フェーズフリーなトレーラーハウスは日常時にはサテライトオフィスですが、災害時には移動設置可能な仮説住宅となります。フェーズフリーな森は十分手入れされていて二酸化炭素を十分吸収し、また水源涵養機能の高い環境となります。暴風雨災害のときは山崩れを防ぎ干ばつ災害のときの渇水を緩和してくれます。フェーズフリーなアプリは、日常時にはルート案内、観光案内、催しもの案内が手軽にできる便利機能ですが、災害時には避難場所、避難ルートが即時に万国語で案内してくれ災害弱者を救済してくれます。

日本は4つのプレートがせめぎ合う世界の地震大国です。地震のみならず台風、高潮等による災害も頻繁に発生する災害大国です。その日本を観光する人々は様々な情報を持たない災害弱者です。災害大国で災害弱者を守るフェーズフリーな解決こそ、観光立国を目指す日本の目指す道だと考えます。

令和6年度通常総会と関連行事のご案内

令和6年度の通常総会と関連行事の概要が決まりました。

通常総会に併せて、下記の通りセミナーと交流会を開催いたします。今回、セミナー講師にはテレビでもおなじみの阿川 佐和子 氏(作家、エッセイスト)をお招きし、テーマ「聞か力・話す力」についてご講演いただきます。

興味深いお話しが期待できそうです。

日時: 令和6年6月17日(月) 14:00~19:00

場所: ホテルメトロポリタンエドモント

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

スケジュール(予定)

通常総会 (1F クリスタルホール) 14:00~15:30

セミナー (1F クリスタルホール) 16:00~17:20

交流会 (2F 悠久) 17:30~19:00

観光交流空間のまちづくり研究会 クロストーク「第2のふるさとづくりプロジェクト」と「雪国観光圏」

トレンド探偵「雪国観光圏」視察訪問 報告 観光交流空間のまちづくり研究会 委員長 清水 聡

観光庁では国内観光の需要掘り起こしと地域経済活性化の観点から「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新たな旅のスタイルの普及と定着を目的とした「第2のふるさとづくりプロジェクト」を推進しています。

クロストークでは、これを担当推進されている観光庁観光資源課の丹下氏とこのプロジェクトの採択事業者である「一般社団法人雪国観光圏」代表理事の株式会社龍言の井口氏をお迎えし、プロジェクトについてお話いただきました。第2のふるさとは生まれた場所、住んでいる場所とは別に自分が帰れる、通える場所を作って、何度も地域に通う旅をしませんか？というプロジェクトです。そこでは交流が広がり、関係性が作られていきます。採択事業者である南魚沼の雪国観光圏は、はるか縄文のころから3mもの雪が積もる雪国で先人が暮らし育んできた知恵と文化があります。

トレンド探偵では古民家を改装したホテル龍言に宿泊し、現地の食文化を体験し、八海山酒造で雪室を見学し、また竹治郎では国産に拘るしめ縄づくりも体験しました。多くの雪国文化の一端を感じることができましたが、是非とも真冬にまた訪れたいと感じたツアーでした。



「GINZA HOTEL by GRNBELL & Zouk Tokyo」 見学会 報告

インテリア部会注目施設見学会グループ リーダー 長尾 俊夫

3月27日銀座ホテルグランベルの見学を開催しました。42名の参加で2班に分かれ、ロビーから客室各タイプ及びブルーフトップレストランをホテルスタッフの説明を受け案内頂きました。

抜群の立地で都市の景観にも広がる開放的な居心地を感じました。「クラシカルな要素をモダンにしたシャープな」印象でした。地下にあるナイトライフブランド「Zouk」の照明システムとサウンドの体験もできました。ワールドクラスのエンターテイメント空間の迫力をしばしの時間体感もできました。変化ある見学のあと懇親会も楽しみました。

インテリア分科会—デザイン温故知新— 「川島セルコン・織物博物館」「北三」 「日本ベッド」調査会 報告

インテリア分科会長 内田 幸子

インテリア分科会では様々な伝統技術や施設等の現場を訪ね、調査研究を行ってきました。2023年からは「デザイン温故知新」をテーマとして、協会70周年のコンセプト「日本をつたえる」とも関連付けた活動を行っています。昨年度には改めて協会員皆さまの会社に焦点をあてて、テーマに沿って3件の研究会を開催しました。

1. 2023. 6. 25 「川島織物 180年が未来につたえるもの」
2. 2023. 12. 10 「北三 100年の歴史」
3. 2024. 3. 27 「温故知新」～日本ベッドと近現代ベッドの歴史～

日々の現業でもなじみ深い3社のプロダクトや事業について、僭越ながら知っていたつもりの事にも、当たり前と思っていたことにも、たくさんの学びと気づきがありました。

新入会員紹介☆ (入会順)

【個人会員】柳村 暁

あかつき技術士事務所 代表

【建設業】ケーアンドイー株式会社

(代表者) 代表取締役会長 (担当者) 営業統括部長 社長執行役員 岩間 和久 事業推進部 部長 秋穂 和男

〒102-0071

東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 15階
TEL03-3512-2212 FAX03-3512-2214

営業内容: 改修工事の企画、設計、施工 建物、設備機器の診断、評価

【設計・コンサル】江間忠木材株式会社

(代表者) 代表取締役会長 (担当者) 木質内装資材部 江間 壮一 部長 市原 義之

〒104-8551

東京都中央区晴海 3-3-3

TEL 03-3533-8221 FAX03-3533-8220

営業内容: 原木、木材及び合板等の輸入販売 建築資材、産業資材の販売 建築工事の請負、設計及び管理

【製造業・販売業】株式会社工芸社

(代表者) 代表取締役 (担当者) 第一営業部 五島 貴昭 副部長 野崎 仁

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-5

TEL 03-5801-0791 FAX 03-5801-0794

営業内容: 博覧会、見本市展示会等の企画設計施工及び店舗、ショールームの内装工事

【設計・コンサル】 有限会社タートル

(代表者) 代表取締役
亀谷 彰

〒135-0062

東京都江東区東雲 1-9-18-1409

TEL 03-5859-0108 FAX 03-5859-0108

営業内容: 事業コンサルティング 施設、運営、商品
企画開発 プロジェクトマネジメント

【個人会員】 佐藤 岳利

株式会社佐藤岳利事務所 代表取締役社長

【個人会員】 岩井 秀行

【製造業・販売業】 株式会社和光製作所

(代表者) 代表取締役社長 (担当者) SPM 事業部 営業
西田 隆一 マネジャー 米田 正克

〒601-8136

京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町 300 番地

TEL 075-693-3280 FAX 075-681-1477

営業内容: 住宅機器等販売卸売、産業機器等販売

【製造業・販売業】 SANEI株式会社

(代表者) 代表取締役社長 (担当者) 管工機材部
西岡 利明 管工機材課兼 A&P 課 課長
浦田 和重

〒357-0023

大阪府大阪市東成区玉津 1-12-29

TEL 06-6972-6981 FAX 06-6972-5929

営業内容: 給排水器具等の製造販売



♥編集後記♥

長期にわたるゴールデンウィークが終わりましたが、期間中の訪日外国人の数も予想以上に多く観光業界にとって大変喜ばしいことではありましたが、同時にオーバーツーリズムによる問題も多々発生してしまいましたようで、今後どのような対応が適切なのか、これからの対策が待たれるところとなっておりますようです。私達の事業がこれからの対策にも役立ちますように頑張ってお参りたいと存じます。 Y. K